

前橋市議会の第3回定例議会が9月7日から30日まで開かれました。本会議総括質問を中道浪子・笠原寅一・長谷川薫議員が行い、5名の党市議団全員が各常任委員会にて昨年度の各会計の決算審査を行ない市民要求実現に向けて全力をあげました。意見書起草委員と議案反対討論を小林久子議員、決算反対討論を近藤好枝議員、請願賛成討論を長谷川薫議員が行ないました。

中道浪子議員は「福島第一原発から200キロも離れているのに放射性物質が本市にも大きな影響を及ぼしている。党市議団が8月に視察した柏崎刈羽原発は、本市から100キロ圏内。本市の地域防災計画も原発事故を想定した見直しが必要。また、ヨウ素剤の準備も求められる。さらに、災害用備蓄倉庫で食糧が備蓄されているのは、10か所だけ。備蓄倉庫の増設と設置場所を市民に公表すべき」とたがしました。当局は「防災計画や備蓄方法を見直す」と答弁しました。

放射能汚染から子どもや市民の健康を守れ

「放射線量をできるだけだけ詳細に測定すべき」という党市議団の要望にこたえて、市当局は現在の3か所の清掃工場を集約し、2016年の稼働をめざして下増田町に新清掃工場の建設計画を進めています。

長谷川薫議員は「公聴会で16人全員が予定地に反対し変更を求めた。工場の排気ガスの影響を受ける2・5キロ圏内には、学校や病院や住宅などが密集する伊勢崎市の市街地。また予定地は広瀬川と荒砥川に挟まれた軟弱地盤で、市が策定した洪水ハザードマップは5メートルの浸水危険地域。市の環境影響評価は、安全な環境に配慮した施設と結論づけている。しかし、排気ガスは総量規制がないので、

また「全ての給食食材の放射能を測定し、少しでも汚染された食材は使わないようにすべき。当面、地産地消の取り組みが若干後退しても安全性を優先すべき。『放射能は少なければ少ないほど良い』という放射線防護の大原則を認識すべき」と

ただしま

新清掃工場の公聴会・全員が建設反対

放射能汚染から子どもや市民の健康を守れ

地震・洪水だけでなく 原発災害を想定した防災計画に



原発の撤退を求めるデモ行進

市当局は現在の3か所の清掃工場を集約し、2016年の稼働をめざして下増田町に新清掃工場の建設計画を進めています。

長谷川薫議員は「公聴会で16人全員が予定地に反対し変更を求めた。工場の排気ガスの影響を受ける2・5キロ圏内には、学校や病院や住宅などが密集する伊勢崎市の市街地。また予定地は広瀬川と荒砥川に挟まれた軟弱地盤で、市が策定した洪水ハザードマップは5メートルの浸水危険地域。市の環境影響評価は、安全な環境に配慮した施設と結論づけている。しかし、排気ガスは総量規制がないので、24時間連続運転される日量396トンの焼却炉からの窒素酸化物・ダイオキシン・重金属を含むばいじんは1年間で大量に排出される。また、工場の建設費は約175億円と試算しているが、洪水や地震対策が必要で大幅な経費増が予想される。ゴミ回収車の委託経費も遠距離運行で年間2億3千万円も増える。市民や伊勢崎市民にもこのような事実を伝え、要望にもていねいに耳を傾けて、予定地の見直しを検討すべき」と求めました。

市当局は「計画通り進めたい」と明確な根拠も示さず答えました。

市民要求の実現めざし奮闘します



近藤好枝議員 小林久子議員 長谷川薫議員 笠原寅一議員 中道浪子議員

※ご意見、ご要望をお寄せ下さい。

住宅リフォーム助成制度を!

11月から改修工事を限定して 限度額20万円の助成事業を開始

笠原寅一議員は「住宅リフォーム助成制度の創設」を求めて質問しました。同議員は、「同制度は災害に強い街づくりに、中小建設業者の仕事を増やし地域経済活性化に即効性のある制度。木造住宅の耐震改修費補助事業と併用できる制度を早期にスタートさせるべき」と質問しました。

市当局は「住宅の耐震化と

「民商」提出の請願採択されず

前橋民商(大野豊文会長)から同助成制度創設の請願が提出されました。清新クラブ・真政会・市民フォーラム・公明党がいずれも請願に不採択を表明。



に導入したい」と答弁。市当局は、11月から補助金の上限20万円で耐震補強工事と併用できる制度を開始します。

党市議団は本会議で、「市当局が検討している住宅改修支援制度は不十分。採択を」と賛成討論しましたが、他の党派の反対で請願は不採択とされました。

公共交通マスタープランで示す「マイバスなどの料金値上げ」計画の撤回を

党市議団は「市が策定した『公共交通マスタープラン』にマイバスなどの運賃を値上げする方針があるが、交通弱者の負担を増やすべきではない。撤回すべき」と質問。

当局は撤回を明言しませんでした。また、「富士見地区のるるんバスを呼び出し方式のデマンドバスに転換を」と求めたところ、当局は「住民の意見を聞きながら移行を進めたい」と答弁しました。

無料法律・生活相談

毎週金曜日10~12時
市議団控室 予約を

中道浪子 (261) 4355
笠原寅一 (263) 0688
長谷川 薫 (234) 5326
小林久子 (283) 6756
近藤好枝 (283) 8123

日本共産党
市議団だより

No. 255 2011.10.27 発行・日本共産党 前橋市議会議員団

〒371-8601 前橋市大手町2-11-1 前橋市議会内 日本共産党控室
☎027-232-1561 FAX. 027-232-1569
☎027(224)1111 内線2341 URL http://www.jcp-maebashi.gr.jp/

市民のいのちや暮らしを守る市政運営を！

生存権を脅かす 差し押さえはやめよ

小林久子議員は「抗がん剤の服用ができなくなるような年金の差し押さえや生活保護に陥らせるような滞納整理はやめるべき」と質問しました。

「国税徴収法は生存権を脅かすような行過ぎた滞納整理を禁じています。ところが、市当局は生活実態を無視して滞納額を1年で完納するよう無理な分納額をしばしば示しています。また、本税を完納したのに延滞金だけで差し押さえをし

ていますが、生活困窮者対象の延滞金の減免制度を創るべきです。庶民増税が強められているだけに、払いたくても払えない市民の生活実態を把握して、正しい納税相談を行なうべきです」と強く改善を求めました。



国保・介護・保育… 国の制度改悪に反対を！

党市議団は「国民健康保険を後期高齢者医療制度のように県を保険者とする広域化を行なえば、国保税が

更に引き上げられ、滞納者への制裁措置が強められる。介護保険では軽度の高齢者を介護サービスから排除しようとしている。保育では新システムで自治体の保育責任をなくし、保育の質を低下し保育料の値上げなどがねらわれている。反対すべき」と求めました。



市内の小学校の運動会（9月）

当局は「国の制度改正の推移を見守る」と答えるだけで、社会保障の改悪をくいとめるといふ姿勢は全く示しませんでした。

大型店は市内の小売り面積の85%に

高齢者も子どもも 安心して暮らせる街づくりを

前橋市の街づくりは、大型店を郊外に誘導し、南部拠点地区に商業施設が次々に開店しましたが、西地区は開発のめども立っていません。また、前橋公園や荻窪公園にはこれまで約55億円も建設整備費を投入してきたが、市民に身近な公園の管理がなおざりにされています。一方、財政危機と業団地造成組合には昨年度までの3年間に34億円も一般会計から繰り入れを行なっています。

また、中心市街地の活性化策として民間マンションの開発の誘導や美術館建設計画などに財政を投入してきました。こうした市政運営により大型店の占める売り場面積は85%にも達し、その結果、中心商店街の通行量は減り続け、市内各地の商店街も閉店に追い込まれ、買い物難民を生み出しています。こうした街づくりの矛盾拡大をやめ、高齢者や子どもも安心して暮らせる街づくりを進めるべきです。

学校体育館の耐震化を急げ

震度5強に見舞われた東日本大震災時には、市内26校の小中学校施設の建物被害が発生しました。近藤好枝議員は「校舎は耐震化がほぼ完了しているが、避難所になる体育館の約6割の耐震補強が必要。地震で落下する危険がある天井や窓

などと合わせて耐震化を急ぐべき」と質問しました。当局は「危険箇所調査を今年度中に行ない、体育館の耐震化を急ぐ」と答弁しました。



党市議団の要求に応え 前橋市が放射性物質の除染開始

10月の教育福祉常任委員会で党市議団は9月議会に引き続き「学校敷地内や通学路を詳細に測定し、ホットスポットを探して、高いところは直ちに除染すべき」と求めました。

当局は「8月下旬に全小中学校の雨どいの下の側溝や樹木周辺を測定し、高いところは対応した。同調査で一番高い値を測定した宮城小学校の雨どいの下(下の写真)が毎時



0.542マイクロシーベルトであったため側溝にたまった土や落ち葉を取り除いたことにより、毎時0.2マイクロシーベルト以下まで低減できた。今後高いところは実施する」と応え、当局は毎時0.23マイクロシーベルト以上の11校の小中学校の雨どいの下の側溝など除染をしています。

児童文化センターのプラネタリウム 有料化に反対

改築され来年1月にオープンする児童文化センターのプラネタリウムの観覧料が、有料になります。(小中学生は100円・大人300円)日本共産党だけが反対しました。

社会科見学などは無料にしていますが、教育的文化的価値が高いものであるならば、学校行事以外でも無料にして、子どもたちの星や宇宙への興味や関心を育むことが大切です。有料化で、子どもに受益者負担を求めるべきではありません。

かつて、元気21のプレイルームの有料化、ばら園の有料化なども検討されましたが、党市議団が反対し、現在も無料を継続し気軽に行ける身近な施設として大変喜ばれています。本市が継続してきた無料こそ、他市に誇れるものです。